

「アートと文化が誰にも近い街」を目指し、「アートと生活」をテーマとして、芸術や文化に親しんで頂くきっかけを提供する芸術文化講座。各分野の専門家が、アートがはじめての方々にやさしく語りかけます。2022年12月(第36回)は「売り手の側から見たアートの価値、コレクターの側から見たアートの魅力」です。お二人の講師の方に心を揺さぶるアートの魅力を解説して頂きます。

< 2022年12月(第36回) >

売り手の側から見たアートの価値、コレクターの側から見たアートの魅力

このところ国内外のオークションで高額落札されたアート作品の話題がニュースになることが多くなりました。高値で世間を賑わすアートの値段はどのように決まるのでしょうか。株価はその会社の業績によって決まりますし、不動産はそこで得られる収益によって価格が決まります。しかし、アート作品には実用性や機能性はありません。そのため価格の根拠は非常に曖昧です。ところが優れたアート作品には実用性、機能性がないにも関わらず、それを手に入れたいと人を魅了し誘惑する力があるのも事実です。今回は、アート作品の売り手の側から見たアートの価値、コレクターの側から見たアートの魅力について話し合ってみたいと思います。

日 時：2022/12/21(水) 18:30～20:00 (開場18:00)

会 場：ミュージアムタワー京橋 16階 Café16
(交差点側の入口よりご入館ください)

形式/定員：会場集客*/45名(申込先着順)

参加料：無料

申込方法：Peatix (<https://peatix.com/event/3375063>)

右のリンクボタン(またはQRコード)よりお申し込みください。

[申込開始：2022/11/16(水)]

▶ お申し込み(Peatix)



開催当日に会場にお越しにならない皆さんのため、後日アーカイブ映像をWEBサイトにアップロードします。

※新型コロナウイルス感染対策のため、延期・中止・開催方法の変更等をさせて頂く場合がございますので、あらかじめご承知おきください。

< 講師 >



高橋芳郎 氏 (翠波画廊代表)

1979年、多摩美術大学彫刻科に入学、1983年現代アートの専門学校Bゼミに入塾、1985年株式会社アートライフに入社、1990年株式会社ブリュッケを設立。フランス近代絵画から現代アート、また専属契約画家の作品を常時1000点取り揃え販売。「富裕層はなぜアートを買うのか」のタイトルで企業セミナーを定期開催。著書に『値段で読み解く魅惑のフランス近代絵画』(幻冬舎)、『アートに学ぶ6つのビジネス法則』(サンライズパブリッシング)。



山本冬彦 氏 (サラリーマン・コレクター)

東京大学法学部卒業後、合繊会社、損保会社を経て放送大学理事を最後に退官。その間40年にわたり毎週末、画廊巡りを続け若手作家の作品を中心に蒐集してきたサラリーマン・コレクター。リタイア後は画廊ビルで有名な銀座奥野ビル内の「銀座の隠れ家」を拠点にアート普及と若手作家支援のための執筆・講演や企画展を行う。蒐集作品によるコレクション展を佐藤美術館等で開催。著書に『週末はギャラリーめぐり』(ちくま新書)。